



(R.4.10)

医療福祉の地域創造会議 通信 第144号



第137回ワーキンググループ会議 (R8.3.26)

「今年度の振り返りと意見交換」

テーマ1 「令和7年度の振り返り」

テーマ2 「ワーキング会議でこんなテーマが聞きたい！」

令和7年度は、8回の定例ワーキンググループ会議を開催し、延べ300名もの方に参加していただきました。ありがとうございました。3月は一年間の振り返りとワーキング会議のテーマについて、たくさんのご感想やご意見をいただきましたので、一部ですが紹介します。

あわせて、令和8年度の予定も公開しました。たくさんのご参加、お待ちしております。

めざす姿に向かい、会に参加することでどのようなことが達成されたか
～人生楽しくイキイキ生ききる～どのような状況になっても「自分らしく暮らし続ける」ことや、「楽しく生ききる」ことを皆で支える地位社会の創造をめざす

- この会議で出会った方々とつながり、仕事や事業を共にすることができる。そのことが地域に還元できる流れや循環を生み、この会議でもたらされる大きな醍醐味である。
- 地域によって問題や課題が違う。そこを地域の人たちで現状を見ながら考えたり取り組んでいける。
- 様々な角度からの話を聞く中で、自分が知っている世界は狭い。新たな世界を知り、改めて知る大切さを思った。
- 初参加の方は、参加者の紹介でつながりの中から参加をされている。横のつながりにおいて意味のある会。
- 多職種、多角的な意見で1+1=5にもなるような、より広い視野を持って自分の仕事に還元できる。
- この会のテーマの軸がしっかりしている。軸に向かって立ち位置を考えられる。
- 「人生楽しくイキイキ生ききる」が仕事の軸になっている。
- 職場にいとそこだけの世界。日々の業務は大変だが、県が頑張っているところがわかる顔が見える会で、安心して仕事ができる。
- 新しい出会い、人脈が広がる。個人の成長につながった。

ワーキング会議で聞きたいテーマ

- モバイル屋台
- 住宅問題、空き家問題
- 人を楽しませる側の話
- 高齢者と若い人のつながり、若い人の思い
- 介護保険を利用していない方との関わり方
- 孤立している方が参加できる地域活動
- 警察の方などに、数字や実体験の話
- 外国人就労者の活躍や交流の場
- 企画や当日進行を主体的に参加する
- 新生児、お母さんにスポットをあてる話
- 子どものメンタルヘルス
- 2040年問題
- 幅広い雇用の中での企業のサポートについて
- 資産（退職金、終活、老後、死後）の話
- ホスピス制度、子どもホスピス
- アールブリュットの活用
- 性について
- 音楽について（明るい話題）

令和8年度 事業計画

4/23 (木) 18:30-20:00 (滋賀県庁新館 7階大会議室)

「10年後の彼と地域を見つめた就労支援」

一般社団法人 Team Norishiro 代表 野々村 光子 さん

7/23 (木)

地域活動事業との交流 甲賀湖南うつ病・認知症・在宅医療等懇話会
地域活動事業との交流（口腔機能の維持・向上）

5/28 (木) 18:30-20:00 (滋賀県庁新館 7階大会議室)

「美術館における社会的処方取り組み」

滋賀県立美術館 ディレクター（館長） 保坂 健二郎 さん

【総会・研修会】

8/29 (土) 午後 ピアザ淡海大会議室

※詳細は検討中

6/25 (木) 18:30-20:00 (滋賀県庁新館 7階大会議室)

「終活サポート（仮）」

SUZAKICAFE 洲崎 トモ子 さん

12月 地域活動事業との交流

永源寺地区ボランティアセンター こだま

テーマは未定ですが、上記以外に 9/17 (木)、10/22 (木)、1/28 (木)、2/25 (木)、3/25 (木) を予定しています。

令和8年度のキーワードは

「多職種連携を基盤とした地域づくり」

医療福祉の地域創造会議 事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

Tel 077-528-3529

e-mail info@chiikisouzoukaigi-s-higa.jp

